

構想内容

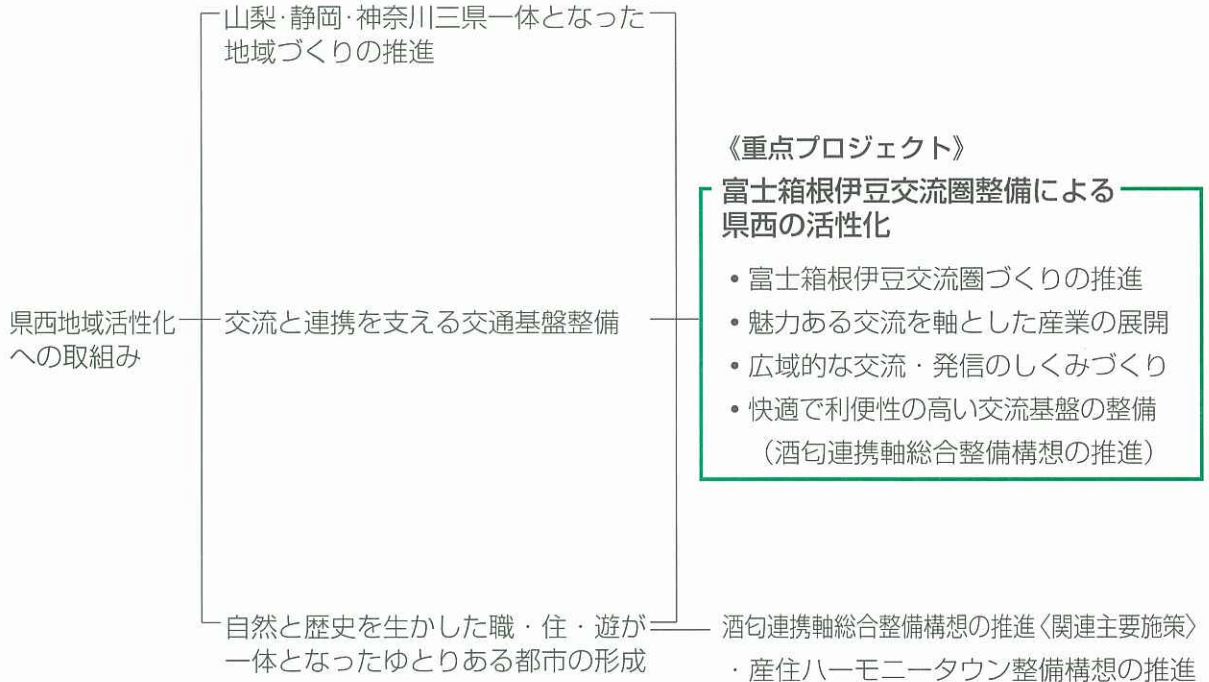
県西地域は、富士・箱根・伊豆に連なる豊かな自然、歴史的遺産等の地域資源に恵まれた国際的な観光地として発展してきましたが、近年、観光産業や第一次産業の停滞等地域活力の低下が見られ、新たな地域活性化への取組みが求められています。また、第二東名高速道路等高速交通網の整備に合わせ、豊かな県西部の地域資源と首都圏との近接性を生かす、地域内の交通網や交流拠点の整備を図る必要があります。

そこで、山梨・静岡・神奈川が隣接する地域を中心とする新しい交流圏の整備をめざして、地域資源の連なりを生かした広域的な連携を図りつつ、観光の活性化、観光と第一次産業とが連携した産業の振興、地域の情報交流・発信のしくみづくり、交流を支える基盤づくりやゆとりある都市の形成に取り組み、地域の活性化を図ります。

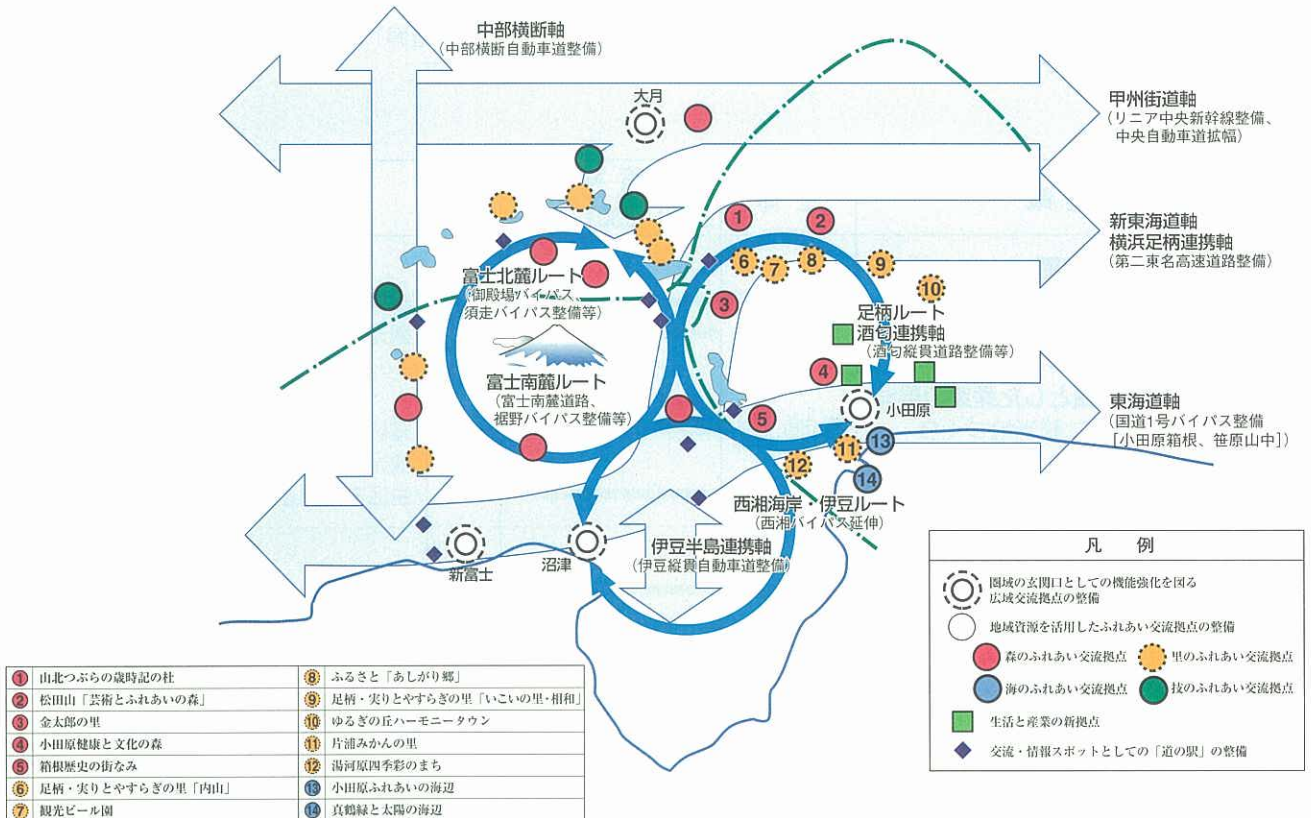


富士箱根伊豆交流圏（富士山と芦ノ湖）

政策展開の方向



概念図



重点プロジェクト 富士箱根伊豆交流圏整備による県西の活性化 4

〈ねらい〉

県西地域活性化構想を推進するために、新たな地域活性化の視点として、豊かな自然、歴史的遺産などの連なりを共有する山梨県・静岡県と連携して、より活発な隣接地域間交流の実現をめざします。

そのために、富士・箱根・伊豆にまたがる新しい交流圏の形成をめざし、魅力ある交流を軸とした産業の展開、広域的な交流・発信のしくみづくり、快適で利便性の高い交流基盤の整備などの三県が連携した事業の推進を図ります。

〈構成する施策と展開の方向〉

(1) 富士箱根伊豆交流圏づくりの推進

- 山梨・静岡・神奈川三県及び圏域市町村が一体となった地域活性化のための広域的な推進体制づくりをします。
- 県西地域の活性化を図るため、「花」「水」をキーワードとした観光・交流スポットの整備及びこれらのネットワークづくり等に取り組みます。

(2) 魅力ある交流を軸とした産業の展開

- 地域資源を生かした新しい観光ルートの開発や国際化に対応した観光地づくりに取り組みます。
- 県西地域で今後成長が期待される生活文化関連（シルバーサービス、教育等）などの新しい事業の創出・育成に向けた支援に取り組みます。

(3) 広域的な交流・発信のしくみづくり

- 県民による地域の再発見と魅力づくりなどの交流圏アピール事業や広域的な観光等情報提供システムの構築に取り組みます。

(4) 快適で利便性の高い交流基盤の整備

- 酒匂縦貫道路等の地域内交通網の整備とあわせて、豊かな自然環境、歴史、文化を生かした質の高い都市づくりを進めます。（酒匂連携軸総合整備構想の推進）
- 交流圏の玄関口としての広域交流拠点の整備（小田原駅周辺整備等の拠点整備）や自然や歴史、文化などを生かした森・里・海のふれあい交流拠点の整備とネットワーク化等に取り組みます。

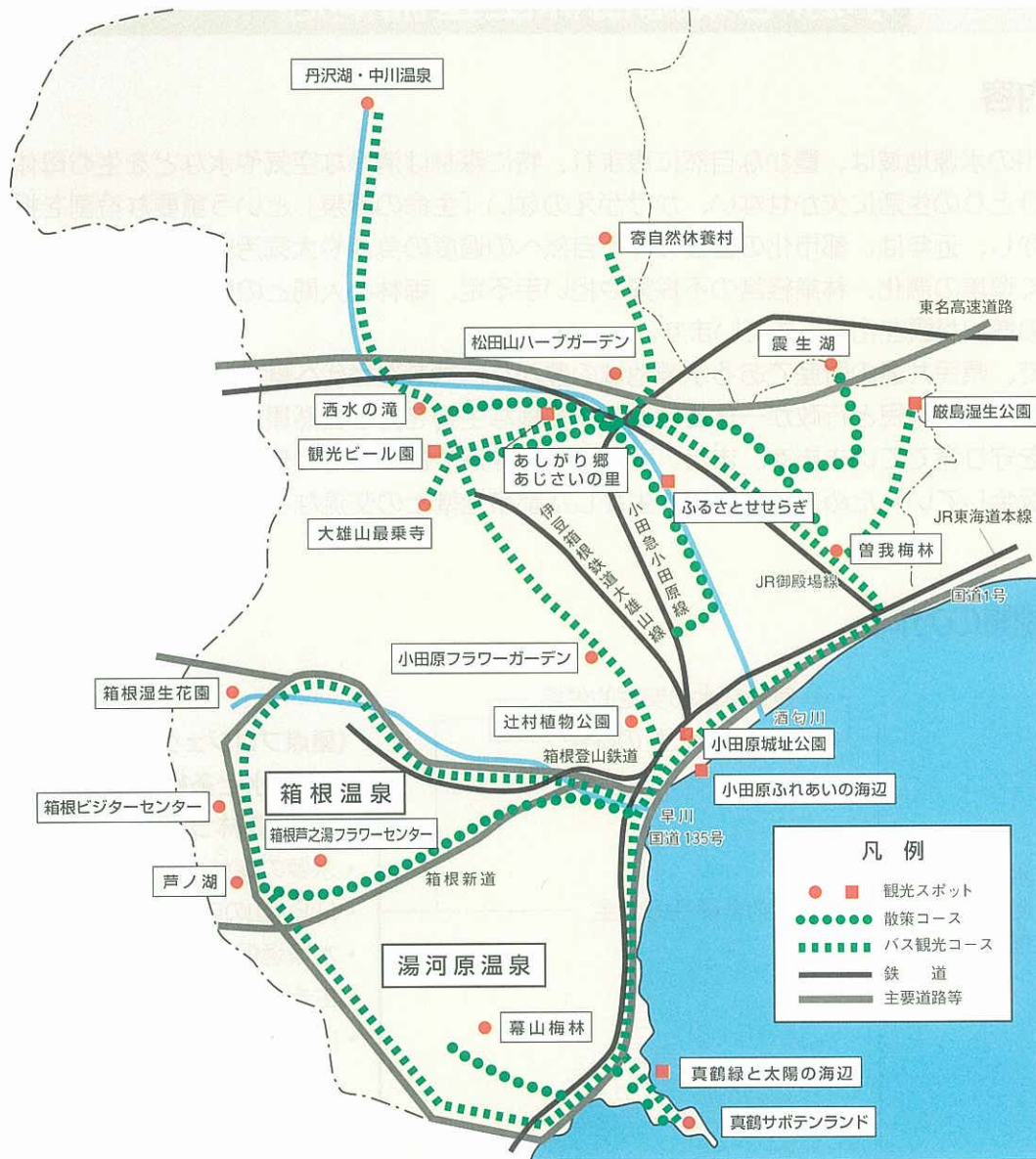
〈実施プログラム〉

構成施策	主体	施策実施年度				3年間計(2000～2002)
		2000	2001	2002	03以降	
(1) 富士箱根伊豆交流圏づくりの推進 ・富士箱根伊豆交流圏づくりの推進 ・花と水の交流圏づくり	県、市町、民間 県、市町、民間	■	■	■	■	圏域市町村、県による推進体制の整備充実 観光・交流スポット等の整備・支援
(2) 魅力ある交流を軸とした産業の展開 ・国際化に対応した観光地づくり ・生活文化関連などの新事業の創出・育成	県、市町、民間 県、市、民間	■	■	■	■	宣伝、ウェルカムカード ^{※1} 導入等の外国人 観光客誘致の取組みの推進 生活文化関連などの新事業の創出・育成
(3) 広域的な交流・発信のしくみづくり ・交流圏アピール事業 ・広域的な観光等情報提供システムの構築	県、市町、民間 県	■	■	■	■	広域的なイベント、PR事業の展開 情報提供システムの開発普及
(4) 快適で利便性の高い交流基盤の整備 ・酒匂連携軸総合整備構想の推進 ・道路網の整備 ・御殿場線等の活性化の検討 ・広域交流拠点の整備促進 ・ふれあい交流拠点の整備 ・東海道ルネッサンス ^{※2} の推進	県、市町、民間 国、県、道路公団 県、市町、民間 市、民間 県、市町、民間 国、県、市町、民間	■	■	■	■	住民参加による構想の推進 酒匂縦貫道路、小田原環状道路、国道1 号（小田原箱根道路）等 御殿場線等の活性化の調査検討 小田原駅東西自由連絡通路整備への支援 森・里・海のふれあい交流拠点の整備 記念イベント、シンポジウムの開催等

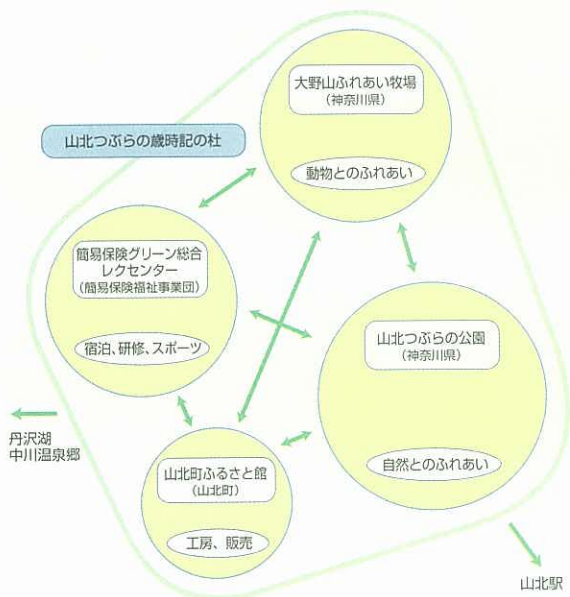
※1 ウェルカムカード…一定のエリアの中で、外国人観光客が観光施設を利用する際にカードを提示することにより、割引などの優遇措置を受けられるもの。

※2 東海道ルネッサンス…東海道に宿駅・伝馬制度が誕生してから、2001年で400年を迎えることを記念して、道に対する理解を深めてもらうために、各種イベント等を実施すること。

〈花と水の交流圏づくり（イメージ図）〉



〈ふれあい交流拠点（山北つぶらの歳時記の杜）整備概念図〉



〈広域交流拠点イメージ（小田原）〉

